

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和5年9月号



令和五年九月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区

醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

FAX 〇七五―五七―一〇〇〇二

「六波羅蜜」 「彼岸会」そして「おはぎ」・・・

お彼岸に執行致す代表的な修行に「六波羅蜜」がございます。

①**布施** 他人のために見返りを求めず良いことをしたり施しをしたりする。

②**持戒** 規律を守り正しい生活を送る。

③**忍辱** 苦難を耐え忍び寛容な心を持つ。

④**精進** ひたむきに努力し、たゆまず仏道を実践し前進をする。

⑤**禅定** 心の乱れと動揺をしずめ、静かな心で真理を思惟する。

⑥**智慧** 正しい行いをするために、真理を見極め仏の正しい知識を身につける。

の六種を云ます。これと同じく「六度」とも申し、いくつかの經典・原典に物語が見られます。

仏の不思議神通方便をもて：六度の難行を一念十念の称名に買うぶらしめて：(鎌倉初期の発心集の一節)この六つを完成せるを彼岸に至ると云い、仏の悟りの境地(彼岸)に近づくことが出来ると伝えられております。

「彼岸会」の期間中に、寺院ではさまざまに法要を執り行い、ご家族でお寺に詣でられ

たり、お墓参りをして、ご先祖様の霊を慰め、成仏されることを祈る日本独特の習慣でもあります。

そして「おはぎ」。彼岸会の時にお墓やお仏壇に供えるお供物は特に決まったものは無いと存じておりますが、よく耳に致しますのは「秋の彼岸のおはぎ」でもあると存じます。「お萩餅」：秋に咲く萩の花に由来いたします。春には牡丹の花が咲く頃なので「春の彼岸のぼたもち」。呼び名は違いますが同じものであります。おはぎの小豆には、邪気を払い、魔を除ける効果があると信じられており、お餅にも、五穀豊穰や家族の健康を願う意味が込められております。

お墓参りをし、お供物を献じ、心からご先祖さまに手を合わせる。この世(此岸)とあの世(彼岸)の結びつきに想いを馳せる当たり前前の行いが当たり前でなくなっていたりする世の中。

今こそ、見えない命に想いを馳せる。その大切さを説き、ものの見方をもう一度考えてみるべき時代になっているのでは無いでしょうか？

真言宗立教1200年 弘法大師御誕生1250年慶讃法要

慶讃法要

日時：令和5年10月21日(土) 10:00 金堂

柴燈大護摩供

日時：令和5年10月21日(土) 14:00 柴燈護摩道場

※慶讃法要参座や柴燈大護摩供出仕、御供料については、既に送付しております
「弘法大師御誕生1250年慶讃法要御供のお願い」をご参照ください。

御供料：1口1万円 1口以上

今月の掲載内容

- ・「六波羅蜜」「彼岸会」
そして「おはぎ」・・・ 1
- ・録事 2
- ・宗派だより 3
- ・末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・本庁からのお知らせ 3
- ・醍醐寺からのお知らせ 3

録事

▼宗務所移動

四月一日
任愛媛宗務所所長
任愛媛宗務所副所長
任愛媛宗務所代議員

蓮生寺 森岡文雄
光徳院 藤田定昌
成願寺 得能金龍
浄土寺 遠藤大純
金蓮寺 渡部俊宗
宮坊 八坂浩聖

六月一日
任香川宗務所所長
任香川宗務所副所長

摩尼院 中筋高照
十波羅密寺 業天智隆
多聞院 長尾真玄
長徳寺 好井榮章
道隆寺 和氣正真
伊福寺 森口宜帝
吉祥寺 森末幸彦
地藏寺 木村勝美

任香川宗務所代議員

六月十三日
任宮崎宗務所所長
任宮崎宗務所副所長
任宮崎宗務所代議員

天福寺 桑井大豪
永願寺 黒木宥英
中野寺 兒玉宥雄
龍仙寺 大崎祐香

▼度牒授与

本宗籍

四月二十九日 熊本 日隈 浄道
五月十日 愛知 池上 健龍
徳島 清水 香総
伝法学院第九十二回生
北海道 荻原 智範
栃木 井上 清樹
大阪 草柳 昇諦
大阪 小松 優人
和歌山 園田 長隆
宮崎 兒玉 宗弘
六月八日 東京 益子 頼明

▼僧階昇補

本宗籍

六月十五日 権大僧都 広島 石渡 妙徳
修験籍
五月二十九日 権大僧都 大阪 寺田 真弘

▼住職・主管者任命

平成三十年六月十日 長崎 珠利院教会 松本 泰知
令和四年十月八日 宮崎 光明寺 土工 秀俊
令和五年六月二十八日 新潟 快藏院 西 快守

▼責任役員任命

令和四年十月八日 宮崎 光明寺 土工 駿将
土工 千恵子

令和五年四月十九日 福岡 大徳寺 秋元 正成
秋元 美恵子

四月二十八日 福岡 阿弥陀寺 秋元 正徳
中瀬 久隆

五月六日 北海道 照覺寺 村山 昭雄
高野 次男

五月十一日 神奈川 横浜不動教会 佐久間 秀紘
土井 浩之

六月二十四日 広島 長命寺 時元 哲男
佐伯 暢哉
佐伯 知省
門田 忠昭

六月二十八日 新潟 快藏院 西 正洋
西 キヨエ

七月一日 肥前 愛染院 櫻井 南奈

七月九日 大阪 大聖山不動寺 嶋本 峻済

七月十三日 三重 観眞寺 藤澤 慶子
三河東部 平澤 千尋
藤澤 康行

七月十四日 徳島 毘沙門寺 戸荻 法泰
戸荻 教恵
松井 洋子
松井 秀文
松寫 三 千代
松寫 徹

七月十五日 新潟 大寶院 植島 禎一
植島 克朝
鷺尾 美紀子
鷺尾 光道

平成三十年六月十日 長崎 珠利院教会 平塚 順子
豊本 孝浩
今野 龍則

令和四年十月八日 宮崎 光明寺 新名 浅継
新名 謙二
児玉 清明

令和五年五月六日 北海道 照覺寺 佐藤 廣市
富田 昭二
熊谷 勇典

五月十一日 神奈川 横浜不動教会 佐藤 守男
土井 浩之
金子 巳喜雄

六月二十四日 広島 長命寺 時元 哲男
佐伯 知省
藤岡 博文
門田 忠昭

六月二十八日 新潟 快藏院 近田 忠昭

七月十三日
三河東部 観眞寺
小林 幸夫
塚原富美子

三河東部 観眞寺
中尾 元貴
繁原 康弘
服部 彰好
山野 高明
金子 菊子
岩佐 仁
谷村 高子
塩田さなえ
松下 桃子

七月十四日
尾張 大寶院
植島ちか子
足立 千晶
植島 美恵

七月十五日
新 潟 光明院
星野ヨシイ
加藤 陸子
櫻井 豊子

▼承認・証明

七月六日
三 重 松井 秀宗

七月二十日
静 岡 峰本院
僧名変更承認の件
〔秀宗〕より「亮學」へ変更

▼死亡

平成二十九年八月十七日

秋 田 権律師 加福 晃盛

令和元年十二月十五日
広 島 律 師 石岡 智慧

令和四年十月三日
愛 媛 大熊寺住職 藤村 啓修

令和五年五月二十六日
福 岡 権中僧都 村口 永真

宗派だより

親授式

令和五年七月二十九日(土) 午前十一時 三宝山本堂
新 潟 快藏院 西 快守
宮 崎 光明寺 土工 秀俊
長 崎 珠利院教会 松本 泰知

末寺・教会・醍醐寺だより

開山忌法要

令和五年七月六日(木) 午前十一時 開山堂
第七十二回三宝山門跡 葛城山蓮華入峰修行

令和五年七月七日(金) 葛城山 転法輪寺
本山先達 六名 伝法学院生 七名

随喜修行者 十三名

孟蘭盆会法要 歴代先師莊嚴 三宝山 弥勒堂

令和五年七月十三日(木) 募参・開白法要

七月十四日(金) 中日法要

七月十五日(土) 結願法要・募参

第五十四回三宝山門跡 大峯山奥駈入峰修行

令和五年七月二十日(木) 七月二十二日(土)

大峯奥駈道 熊野三山

本山先達 四名 随喜修行者 九名

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第二十五条第四項)。

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。

文化庁主催による「令和五年度・宗教法人実務研修会」が、九月以降に各地区で開催が予定されています。詳細は、真言宗醍醐派ホームページをご覧ください。お申し込みは、開催県へお問い合わせください。

財務部より

六月下旬から順次、宗費賦課金の請求書を送らせて頂いておりますが、まだお手元に届いていない場合は、宗務本庁財務部宛にご確認ください。お手元にございます場合は、お早目の納付をお願い申し上げます。各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までご連絡ください。

教学部より

声明研修会

日程：令和五年九月十二日(火) 九月十九日(火) 九月二十六日(火)

時間：午後一時三十分～午後三時

会場：研修棟(Zoom参加可)

講師：大阪 大聖山不動寺住職 藤澤寛秀僧正

※詳細およびお問い合わせ・お申し込みは、下記のQRコードから。

修験伝法教室

日程：令和五年十月七日(土)～十月十一日(水)

※詳細は教学部までお問い合わせください。

教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。

現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数のご相談となりますので、是非お問い合わせください。



醍醐寺からのお知らせ

第一回日本国際芸術祭

令和五年九月一日(金)～十月十五日(日) 醍醐寺境内期間中、様々な展示やイベントが行われます。詳細は、醍醐寺ホームページ又は、インターネットで「第一回日本国際芸術祭」を検索ください。

弘法大師御誕生千二百五十年慶讃法要

令和五年十月二十一日(土)

醍醐寺アカデミー・オープンテンプル

「寺院・教会の後継者」育成のための醍醐寺アカデミー、「仏教のこころ」を学ぶオープンテンプルを皆様もご利用ください。

令和五年十二月二日(土) 令和六年三月九日(土)

令和五年十二月三日(日) 令和六年三月十日(日)

令和五年十二月三日(日) 令和六年三月十日(日)

<p>大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-1043 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-1004 FAX (0747) 64-1007</p>	<p>林勘法衣店</p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-1224 FAX (075) 255-1663 E-mail hayashikan@beach.ocn.ne.jp</p>	<p>井筒法衣店</p> <p>〒600-18468 京都市下京区堀川通新花屋町角 (西本願寺前) TEL (075) 365-1000 FAX (075) 353-1702 モバイル 0120-1075-1730</p>	<p>田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-1258 FAX (075) 341-1882 http://www.tanakaiga.com</p>
<p>松 栄 堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-1559 https://www.shoyeidoco.jp</p>	<p>今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正南入 TEL (075) 561-1030 FAX (075) 525-1255</p>	<p>上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上る TEL (075) 221-1334 FAX (075) 211-1858</p>	<p>土山印刷株式会社</p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312-1132 FAX (075) 313-1852 www.tsuchiyanama.co.jp</p>
<p>和光印刷株式会社</p> <p>〒602-10012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-1540 FAX (075) 441-1498 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p>杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-1289 FAX (075) 341-1677</p>	<p>山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-1936 FAX (075) 343-1550 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p>大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-1308 FAX (075) 221-1303 E-mail oosumihou@gmail.com</p>

臨時宗会報告

去る7月26日開催の臨時宗会で宗務本庁より提出された第1号議案「令和4年度真言宗醍醐派宗務本庁歳入歳出決算書(案)」に関する件では、宗会議員による慎重審議の結果適正と認められましたので、ここにご報告申し上げます。

歳入歳出総額

予算額 78,500,000円
決算額 76,309,964円

第52回 修験伝法教校開校のお知らせ

日程：令和5年10月7日(土)～10月11日(水)
4泊5日

受講料： 初級 200,000円
中級 300,000円
上級 400,000円
修験得度支具料 100,000円

[お問い合わせ/お申し込み] 真言宗醍醐派宗務本庁 教学部
TEL: 075-571-0002 FAX: 075-571-0101